



2026 年 7 月 17 日

ENEOS とドイツの German eFuel One、合成燃料分野で戦略的協業を開始

ENEOS 株式会社（以下、ENEOS）と German eFuel One GmbH（以下、GEF1）は、合成燃料の日本導入支援および低炭素燃料の国際的な合成燃料バリューチェーンの構築を目的とした戦略的協業（以下、本協業）を開始することをお知らせします。本協業は、ENEOS と eFuel GmbH のこれまでの関係を土台に、GEF1 プロジェクト体制の下で産業・商業分野における連携を一段と強化するものです。eFuel GmbH は GEF1 の株主かつ戦略的パートナーであり、GEF1 はドイツにおいて大規模な e-ガソリン生産設備の開発を進めています。本協業の一環として、ENEOS と eFuel GmbH は、今後の e-ガソリン供給に関する売買契約（SPA）を締結しました。

本協業は、ENEOS にとって日本への合成燃料初輸入案件となり、日本市場における合成燃料の導入拡大に向けた重要な一歩となります。GEF1/eFuel GmbH にとっても、欧州域外への初の輸出案件であり、国際的な合成燃料バリューチェーンの構築に貢献するとともに、ドイツと日本のエネルギー協力を一層強化するものです。

合成燃料は、再生可能電力を用いて製造したグリーン水素や回収 CO₂、またはバイオマスのガス化により得られる合成ガスなどを原料として製造されます。これらの燃料は、厳格な持続可能性基準および規制要件に適合して製造された場合、既存のインフラ、エンジン、流通システムとの高い互換性を維持しながら、ライフサイクル全体にわたる CO₂排出量を大幅に削減できる可能性があります。

ENEOS にとっての戦略的重要性

ENEOS にとって GEF1 とのパートナーシップは、日本市場におけるエネルギー転換を推進し、ネット CO₂排出量の少ない新たな燃料（以下、低炭素燃料）の供給体制構築を目指す戦略的に重要な取り組みです。

ENEOS グループのカーボンニュートラル基本計画において、合成燃料は重要な脱炭素施策の一つに位置付けられています。GEF1 から合成燃料を輸入することによって、ENEOS は日本における合成燃料の導入、流通、利用に関する実践的な知見を早期に蓄積し、需要や規制が変化し続ける中でも将来の供給拡大に向けた体制の整備を進めることができます。

また、エネルギー転換の顧客に低炭素燃料の選択肢を提供することで、エネルギー転換を通じたカーボンニュートラル社会の実現に向けた取り組みをさらに強化します。

GEF1 にとっての戦略的重要性

本協業により GEF1 は、アジア初のオフテイクパートナーを確保し、今後の国際供給契約に向けた重要な先行事例となります。合成燃料はドイツ初の大規模 e-ガソリン製造施設で製造されます。グリーン水素と回収された CO₂を組み合わせることにより、本プロジェクトはモビリティおよび産業分野における化石燃料からの転換を後押しし、ドイツ、欧州諸国、日本の気候変動対策目標の達成に貢献するとともに、持続可能な燃料の生産・輸出拠点としてのドイツの競争力強化にも繋がります。

合成燃料のグローバル市場に向けて

輸送分野脱炭素化が世界で求められる中、合成燃料は、電動化が難しい分野を中心に、ネット CO₂排出量の少ない実用的な解決策として注目を集めています。欧州では、再生可能エネルギー指令（RED III）枠組みの導入により、先進バイオ燃料や非バイオ由来再生可能燃料（RFNBO）の重要性が増しています。GEF1 の製造コンセプトは、欧州のこれらの持続可能性基準および規制要件を満たすよう設計されています。

ENEOS と GEF1 両社の連携により欧州の生産能力を日本の需要と連動させ、グローバル合成燃料市場の発展に貢献することを目指します。本協業は、国境を越えたパートナーシップが新しい技術の普及を加速させ、既存の車両フリートおよびインフラの脱炭素化を支える具体的な実例です。

ENEOS について

ENEOS グループは、世界中に製造拠点と販売拠点を構える、日本を代表するエネルギー企業であり、エネルギー・素材分野において上流から下流まで事業を展開しています。現在及び将来に渡って「エネルギー・素材の安定供給」という責任を果たしながら、エネルギー・トランジションを通してカーボンニュートラル社会を実現します。

詳細は、<https://www.eneos.co.jp/>をご覧ください。

German eFuel One について

GEF1 はドイツ初の大規模 e-ガソリン製造施設に参画し、自社商用設備の開発を進めることで、輸送分野における脱化石燃料化の新基準を打ち立てます。グリーン水素と回収された CO₂から e-フューエルと呼ばれる合成燃料を製造し、モビリティおよび産業分野における化石燃料からの代替を実現します。本プロジェクトでは、CAC ENGINEERING GMBH が開発した革新的な MethaFuel®技術の中核技術として採用しています。同技術により、グリーン水素と回収された CO₂を原料に、高品質な合成炭化水素を効率的かつ大規模に製造することが可能となります。GEF1 は、この先進的なプロセス技術の導入を通じて、工業規模での生産と資源効率の向上、さらには循環型炭素経済の実現を目指しています。

詳細は、www.gef1.de をご覧ください。

以上

<調印式の様子>



左から German eFuel One GmbH 最高経営責任者(CEO)Christian Hanke
ENEOS 株式会社 執行理事 次世代燃料部長 田中 秀明

<デモンストレーションプラント、TUBAF, DeCarTrans Project>



<報道機関お問い合わせ先>

German eFuel One GmbH
Manuela Mahlich, Press & Communications
E メール：m.mahlich@efuel-group.de

ENEOS 株式会社
広報部 メディアリレーショングループ
E メール：pr@eneos.com